

〔奨励賞〕 微反動エアハンマー アピュアン・ブルー



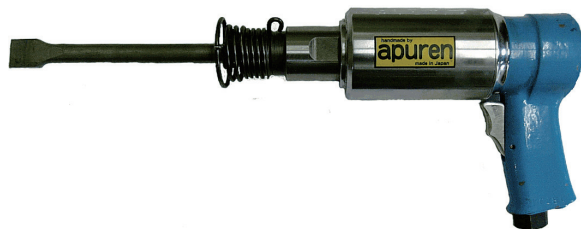
代表取締役社長
渡部 幸雄 氏

アピュアン 株式会社

〒471-0005 愛知県豊田市京ヶ峰1-12-11

TEL. 0565 (80) 7388

<http://www.apuren.com/>



アピュアンが開発した空圧ハンマー「アピュアン・ブルー」は、従来型のハンマーに比べ振動を10分の1に、騒音は10デシベル低減できる。いわゆる「白ろう病」とよばれてきた作業者の振動障害の予防につながる。

秘密は工具内部に配した三つのバネにある。空圧ハンマーは空気の力によりシリンダー内で鉄塊を往復運動させて衝撃力を生み出しているが、この製品では往復する部品の前後にバネを配置。さらには部品がシリンダー内壁に接する外周部にもバネを巻き付けた。ちょうどエンジンのピストンリングのような構造だ。

また「チゼル」と呼ぶ先端部の工具を受け止めるホルダーの内部に布を張り、騒音対策とした。こうした工夫はみな、渡部幸雄社長をはじめ社員がアイデアを出し、試行錯誤を繰り返して形にしてきた。

その渡部社長は大手自動車メーカーの出身。独立して部品の受託加工を手がけていたが、中国や日本で現場労働のつらさを目の当たりにして一念発起。「クルマ自体は当時より格段に進歩したが、使う工具は全然進歩していない。それでいいのか」（渡部社長）と、振動の少ない工具の開発に乗り出した。

用途はピン類の打ち込みから建設現場のハツリ作業まで。実際の現場を見て一品一様で製造する。価格は17万円からと市販品より高価だが、一つひとつ手作業で削り出す部品は頑丈で、ほとんどメンテナンスなしで使える。「労働災害が防げるといえば価格以上の価値があるはず」（同）。大手自動車メーカーにも納入実績ができ、独自開発の成果を世に広めようとはりきっている。